

令和6年度 今泉小学校 学校評価書

自己評価の評価基準： A…十分達成している B…ほぼ達成している C…やや達成している D…改善する必要がある

学校関係者評価の評価基準： 自己評価と同じ評価の場合は、自己評価は妥当であると判断。異なる場合は、学校関係者評価委員会としての見方を示す。

領域	評価項目	自己評価	学校関係者評価	
			結果	意見・提言
学校運営	① 学校は、学校教育目標の達成に向けて、具体的な方策を示し、組織的に取り組んでいる。	B	○成果 ●課題、改善点	A A…4名、B…3名 ・学校内に児童より積極的に挨拶をされる。 ・「あいさつマスター」は目標にもなり、大変良い。 ・先生が学校方針をよく理解し、児童を指導している。 ・挨拶、掃除は生活の基本になるもの。今後も丁寧な指導をお願いしたい。 ・あいさつオリンピックなど、児童にわかりやすい目標をもたせ、あいさつマスター等で、児童のやる気を喚起するなど、目標達成に向け、よく取り組んでいると思う。学校を訪問したときは、児童がよくあいさつをしてくれる。 ・上級生(6年生や5年生)に活動の中心をまかせ、下級生を見本として、活動の場を設定してはいいかでしょうか。
	② 学校は、目指す児童像「元気、笑顔いっぱい、今っ子」に向けて一人一人大切に、自己肯定感を高め、夢をきくみ笑顔あふれる学校づくりに努めている。	B	○あいさつオリンピックという具体的な手立てをもち、あいさつを通して基本的な生活習慣に係わる部分の改善を図った。 ○総合的な学習の時間をとおして、企業・団体等と連携し、児童自身が課題をもち、社会の一員として主体的に、課題解決に取り組むことができた。 ○個に応じた指導を大切にしている。生徒指導では、児童の様子を共有し、児童理解に努めた。また、不登校児童へのアプローチや、心身において不安定な児童への対策や案を、学年や学校で組織的に考え、実施した。 ●全体で集まって活動している場面がないため、今泉小学校の児童の全体像が見えにくい部分がある。	B A…3名、B…4名 ・不登校児童に対して対策がとられている。 ・元気に遊ぶ児童が多い。 ・学校運営の基本は、学級形成や学年経営の充実他に他ならない。児童一人一人にとって、居場所(所属意識)のある学級や学年が基本である。その達成に向けて、さらに頑張っていきたい。 ・自己肯定感を高める方策として、掲示物や物品の作成をとおして、学校に役立てたという体験をさせるのは、難しいでしょうか。
学習指導	③ 学校は、学力向上に向け、児童の実態に基づき、指導方法の工夫・改善(ICT活用含む)と学力の定着に努めている。	B	○教育課程にそって、デジタルやアナログでの使い分け、ICTを使う場面を効果的に設定し、児童の実態に合わせて活用している。 ○学習者用タブレットを使うことで、紙に書くよりも、児童が自分の思いや考えをスムーズに入力しているように感じる。 ●ICTの有効な活用方法等をもっと知りたい。そのような研修会を開いてほしい。	B A…3名、B…4名 ・スクールタクトの活用率が上尾市内で3番ということであるが、その活用の成果がよくわからない。 ・教師の授業力は、大いに評価できる点である。 ・オンラインで授業のライブ配信。実際に見てみたい。今日的課題であるSDGsを取り入れた教育活動は素晴らしい。具体的な授業を見てみたい。 ・教科担任制は推進した方がよいと考えます。中学校では専門性が大事ですが、小学校でもその体制で教師の働き方の困ってください。 ・SDGsの授業を見学でき、すばらしい取組であると実感しました。
	④ 学校は、英語に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る児童が育つことに英語教育や外国語教育を充実させている。	B	○教材研究を充実させ、ALTと担任との打ち合わせを確実にし、授業の活動をおとて、自然と外国語を身近に感じられる環境になっていて、児童が楽しそうに授業に参加している。 ●学校としてどのように授業を展開していくか、統一したやり方はあるのか。あつてもよいのではないかと考える。	A A…4名、B…3名 ・ICT端末が想定より大きく児童の持ち運びに負担があると気になります。 ・「English time」を見学してみたい。 ・低学年では楽しく英語に親しんでいる。 ・今後もALTの活用で児童の英語になじむよう期待している。 ・文科省の指定を受け、英語活動に取り組んでいくことは、素晴らしい。今後の成果にたいして期待したい。 ・英語教育の積極的なアプローチや授業の工夫など、実践的に進めてください。その際にも中学校との連携や児童の学習の把握、指導と評価の一体化も進めてください。
生徒指導	⑤ 学校は、いじめを見逃さず、いじめの根絶に向け、組織的に取り組んでいる。	B	○毎月のいきいきアンケート(学校生活アンケート)の確実な実施や聞き取りを行っている。また、初期対応をベースとして、学年や学校で課題を共有しながら対策を全員で考えられる環境になっている。そして、いじめの認知、解消、見守りを行っている。 ●組織的に取り組んでいるが、保護者の理解が感じられない。 ●いじめの兆候が見られても、それを兆候と捉えていない、あるいは、管理職に報告していないことがあった。まずは、上尾市のいじめ対策基本方針を印刷するなどして、配布し、教職員で理解する必要があるのではないかと考える。	B A…0名、B…7名 ・放課後の対応はむずかしい面があるが、「いじめ」を見逃さない点から、是非ともきめ細やかな対応をお願いしたい。 ・アンケート等も重要な手掛かりになるが、それ以上に教員のいじめに気づく、見抜く力を付けることが大事だと思う。また、学校としての組織的な対応をさらに充実していくことを期待したい。 ・いじめの予兆を絶対的に見逃さないよう、教職員の認知意識を高めてください。特別活動の中で、児童の人間関係を深め、互いを認め合い、共に喜び、共に成長する体験を増やしてください。 ・いじめ件数(18件/9ヶ月)は多くなかなか件数だけでなく、拡がり、深度等はどうチェックしているのでしょうか？
	⑥ 学校は、「思いやりのある子」の育成(あいさつ、丁寧な言葉遣い、仲間を大切にすること)に向け、指導している。	B	○あいさつオリンピックやあいさつ運動等を行い、普段挨拶をあまりしない児童にも働きかけ、あいさつをすることが定着した児童が増えた。 ○あいさつ・返事・清掃を中心に指導を行いながら、児童や教師の発する言葉にも重きを置いて指導をしている。 ●児童同士で呼び合うときに、呼び捨てにしている場面を多く見る。その都度指導はするが、なかなか定着しない。 ●校外での指導を、家庭と連携・協力して呼びかけられるような発信をしていけると、児童の言葉遣いがさらに丁寧になると考える。	B A…2名、B…5名 ・対面給食の再会良かったです。インフルエンザが大流行しておりますので、コロナ禍の様な対応も臨機応変にお願いいたします。 ・道徳・PTA、ICT端末を使用した指導をしている。 ・児童達の積極性に取り組みが見られる。 ・さまざまな活動をおとて、成果をあげていると思う。学校を訪問して、学校の雰囲気にも子どもを大切にしている空気を感ずる。 ・思いやりの心はどのように育つのでしょうか。日常の学校生活の中で、助けられたり、助けたり、心からありがとうの気持ちや味をわせた。 ・「思いやり度」の指数化を目指すべきではないか？「やっています→それは駄目」
健康・安全・体力	⑦ 学校は、歯と口の健康づくりを基盤とした健康教育及び、食育、安全教育に取り組んでいる。	A	○毎週のフッ化物洗口、学校統一の毎日の歯磨き指導、養護教諭や栄養士との連携した授業(家庭科、保健、特活、総合)、避難訓練など充実している。 ○全日本学校歯科保健優良校表彰に推薦された。DMFO.07と良好。 ○地域学校保健委員会において、自主防災会の方や地域・保護者を招いて、防災教育(災害用マンホールトイレの設置について)を行った。 ●食育教育をもっとおこなってほしいのではないかと。 ●避難訓練後の話しは、具体的な内容(なぜ必要か、例を交えたり、実際の話等)をもう少し盛り込んでほしい。 ●熱心に指導にはいるが、時間を多く要するので、工夫が必要である。	A A…6名、B…1名 ・歯科保健コンクール「優良校」の受賞等、健康教育に熱心に取り組んでいる。 ・食育の面にも力を入れてほしい。 ・学校歯科保健コンクール、優良校は素晴らしい。コロナ感染症等への対応には、本当に頭が下がります。 ・児童への啓発や指導の他に、保護者への具体的な啓発など、今までの内容を継続してはいいかでしょうか。 ・歯だけではなく、もう一つプラスした健康教育はどうでしょうか？眼の健康に着目はどうですか？
	⑧ 学校は、「健やかな体の育成」のため、生体スポーツの考え方のもと、体育活動を行っている。	B	○休み時間の校庭遊びや体育館開放を促し、運動習慣をつけるよう働きかけている。 ●季節によって体を動かさない時期にどのように児童へ「運動」を身近に感じさせるかをやっていく必要がある。 ●体育の授業は進んで取り組んでいる児童が多いが、業間休みの外遊びをする児童は、学年が上がるにつれて、できていない児童が多い。 ●児童の体力が落ちてきているので、週に1~2回でも外で思い切り遊ぶ時間や体を動かす体育的な活動ができた良いが、自課表を変更するなど難しい課題がある。日常的に体を動かす機会を増やすと学習や学校生活も頑張ることができるようになっていくと思うが、全校での取組は難しい。 ●体育の準備体操等の統一を図ったほうがよい。	B A…2名、B…4名、D…1名 ・個に応じた場の設定を行い、児童が運動に親しむ方策を行っている。 ・猛暑等、生活環境の変化は、いかんともがたい。学校や先生方の苦労がしのべれます。先生方も健康に留意され、がんばってください。 ・健やかな身体の成長を促すように、運動→食事→睡眠のサイクルを向上させ、適切な強度の体育活動を通じて、がんばる気持ち、耐える気持ちの育成も。 ・体力低下を数年前から指摘されているが、具体策が見えてこない。猛暑日は今後の続きますよ!!
環境	⑨ 学校は、清掃・掲示・環境美化に努め、明るく清いのある環境づくりを進めている。	B	○掲示については、委員会活動や、授業での児童の成果物を掲示していることで、常に新しい環境になるよう意識している。 ○養護教諭が朝、トイレや流しを点検してくれていて、ありがたい。 ○PTAの手算で、トイレ清掃に業者が入っていただき、きれいになってありがたい。網戸の清掃もお願いしたい。 ○環境美化については、委員会活動を通してリサイクル活動をメインに行うが、さらに学校全体が美化できるようにするための活動を進めたいと清いのある環境づくりが進んでいくと考える。 ●根気強く熱心清掃を呼びかけ、学校全体で意識的に行い「熱心清掃」を進め、しっかりと掃除をするという意識が高まってきているが、なかなか徹底がはかれない。また、一生懸命に取り組めるように、時間を確保したい。	A A…6名、B…1名 ・来年度より校内美化活動、PTAお手伝いを増やす計画です。 ・いっしょに行ってもきれいにしている。 ・養護教諭の努力に感謝したい。 ・児童も一生懸命に清掃している。 ・学校全体がきれいに整理されている。 ・明るく清いのある環境づくりに様々な方策でよく取り組んでいると思う。特に清掃の仕事を教職員で確認し、効率的な清掃方法を学校として、共通理解の上、取り組んでいくことは素晴らしい。 ・児童の安全確保や維持向上に向けて、全教職員が意識を高め、管理職の決断で修繕し、また教育活動を行い、児童がケガをして家に帰ることがないようにしてください。 ・走る(50m走)、飛ぶ(立幅跳び)、投げる(ボール投げ)等をもつて、学期前後で計測し、その向上率を次学期の目標とする等。
	⑩ 学校は、学校の方針や取組、児童等の様子がよく伝わるように、保護者や地域に情報を提供している。(学校だより・学年だより・ホームページ・配信メール等)	A	○定期的にホームページを更新し、授業での様子や行事への取組など活動内容等の情報を発信している。特に、児童の取組として、総合的な学習の時間の取組を積極的に発信することができた。 ●緊急時の配信についても、即時対応できるような環境となっている。	A A…5名、B…2名 ・配信により、単身赴任等の保護者へも情報が届き良いと伺っております。 ・毎月の学校だよりを楽しみにしている。 ・学校側から保護者側への伝達はできている。保護者側の評価はどうか疑問がある。 ・授業公開2回、配信メール56回は素晴らしい。 ・学校生活の向上のために、教職員が多くのご褒美や地域関係者の期待や目を意識することが大切だと考えます。